

公益社団法人俳人協会創立六十周年記念

# 東海俳句大会（紙上句会）成績

令和三年十月

## 大会賞

鶴鳴くや泥著せ寝かす素鍛太刀

愛知 駒木 逸歩

富士の水存分に入れ代を搔く

愛知 市之瀬 肇

分数を覚えたての子西瓜切る

三重 手塚 泰子

## 秀逸賞

正面に富士ある茅の輪潜りけり

山梨 青柳 時子

三冊子編みし草庵蚊遣焚く

三重 島井 節

突堤に寝かす自転車鯨日和

静岡 清野かつ江

雪来るかしづかに緊まる沢の水

愛知 佐藤美恵子

鵜篝を沈め羽音の鎮まれり

愛知 河村 仁誠

近江晴れ一斗の白に藍搗けり

愛知 尾崎恵美子

林檎剥く地球の地軸ほど傾げ

愛知 古川 千鶴

地を伝ふ窯の火鳴りや草紅葉

愛知 武田 稜子

文豪の旧居に子ども用プール

愛知 伊藤 明子

舟も身も傾げ荒磯の鮑海女

三重 山口 八重

つまべにや妻の幼きとき知らず

三重 樋口 精一

夏の海船長室に花図鑑

愛知 野島 秀子

誤字にある温み手書きの年賀状

岐阜 安田 隆宏

門火焚く「モガ」のラベルのマッチ箱

愛知 近藤 承穂

冬銀河指跡著き弥生土器

愛知 市之瀬 肇

歳時記のいたみ繕ふ秋灯下

岐阜 三輪千恵子

門らしき門を構へず萩に住む

三重 平田 冬か

晩学の重たき辞林秋深し

愛知 日比紀佐枝

大根蒔き終へて駅舎に切符売る

愛知 森 靖子

薔薇の香を潜りてフォークダンスの輪

愛知 丸山 節子

風花や始発見送る保線員

愛知 古賀 理之

潮汲桶担ぎ日焼の肩に胼胝  
繭を湯に日がな躍らせ糸取り女  
並べ干す木偶の頭や稲の花  
肩車して蜻蛉の群の中  
灼くる日も濡れて水掛地藏尊  
水打つて守る寄席の灯大須路地  
梶の葉に一句したたむ古都の宿  
蕎麦刈るや伊吹の裾の夕明り  
高嶺星紙漉く明りまだ消えず  
裏木戸はそのまま川に鵜飼舟  
村捨てず子に従はず蓮根掘る

愛知 尾崎恵美子  
愛知 牧 富子  
愛知 寺部 糸子  
三重 前田 照子  
愛知 磯村 久市  
三重 水谷 岩夫  
愛知 近藤 敏子  
愛知 後藤 馬風  
愛知 古賀勇理央  
愛知 乙部 妙子  
愛知 舘野 茂子

### 今井聖特選

文豪の旧居に子ども用プール  
軽々と城を乗せゆく白日傘  
大いなる魚板のまなこ冬に入る

愛知 伊藤 明子  
愛知 舘野 茂子  
愛知 原田津多江

### 佐怒賀直美特選

鵜鳴くや泥著せ寝かす素鍛太刀  
林檎剥く地球の地軸ほど傾げ  
鍛冶屋より戻りし鍬や小鳥くる

愛知 駒木 逸歩  
愛知 古川 千鶴  
静岡 渥美 絹代

### 西山睦特選

鵜箒を沈め羽音の鎮まれり  
大根蒔き終へて駄舎に切符売る  
茅の輪くぐり十尋の荒磯にも潜る

愛知 河村 仁誠  
愛知 森 靖子  
三重 小林 青波

### 染谷秀雄特選

富士も水存分に入れ代を搔く  
東海の海原高く雁の棹  
洋上の月高々と涼新た

愛知 市之瀬 肇  
愛知 小林 康祐  
静岡 平田きよし

### 栗田やすし特選

晩学の重たき辞林秋深し  
残照に農夫影ひく秋収め

愛知 日比紀佐枝  
岐阜 和田 郁江

よよと哭く木偶を捧げて祭果つ

三重 松本 愛子

加藤耕子特選

三冊子編みし草庵蚊遣焚く

三重 島井 節

潮汲桶担ぎ日焼の肩に胼胝

愛知 尾崎恵美子

腹括り在宅介護星流る

岐阜 黒田 佳代

加古宗也特選

鶴鳴くや泥著せ寝かす素鍛太刀

愛知 駒木 逸歩

一晚で下駄履き潰す踊かな

愛知 日比谷洋子

悴む手ほぐしてくれし母の息

岐阜 松野登志江

山本比呂也特選

風花や始発見送る保線員

愛知 古賀 理之

夏逝くや古書に切符の挿みあり

三重 森岡 秀美

実梅挽ぐ腰に食ひ込む籠の紐

愛知 伊藤 由利

中村雅樹特選

突堤に寝かす自転車鯨日和

静岡 清野かつ江

築守の会話は雨のことばかり

岐阜 梅村 五月

とぎ汁を朝顔にやり一人住む

岐阜 林 富士子

田口風子特選

近江晴れ一斗の白に藍搗けり

愛知 尾崎恵美子

爽やかに来る九十のベレー帽

静岡 村上 尚子

ホスピスに溢るる日差し秋小鳥

愛知 上村 龍子

笹瀬節子特選

半畳で身支度済ます盆の僧

愛知 近藤 承穂

終戦日正午一羽の鶴を折る

愛知 柴田蒼生子

春怒濤離郷の志高く

大阪 今井 文雄

甲斐遊糸特選

冬銀河指跡著き弥生土器

愛知 市之瀬 肇

さくらさくらいつまで続くこの平和

愛知 西村 青夏

夏深し学徒少女の遺書遺髪

愛知 松岡美千代

間島あきら特選

地を伝ふ窯の火鳴りや草紅葉

愛知 武田 稜子

雪来るかしづかに緊まる沢の水  
明月のこの明るさを畏れけり

愛知 佐藤美恵子  
静岡 牧沢 純江

水野征男特選

歳時記のいたみ繕ふ秋灯下  
終はりなき戦ひ今日も草むしり  
少年の夢は飛行士蜻蛉追ふ

岐阜 三輪千恵子  
三重 服部たけし  
静岡 安富 宏

関森勝夫特選

門火焚く「モガ」のラベルのマッチ箱  
繭を湯に日がな躍らせ糸取り女  
飛騨林檎手で拭き呉る朝市女

愛知 近藤 承穂  
愛知 牧 富子  
岐阜 宇佐美俊二

宮川典夫特選

突堤に寝かす自転車鯨日和  
薔薇の香を潜りてフォークダンスの輪  
ポケットに吉の神籤や衣更ふ

静岡 清野かつ江  
愛知 丸山 節子  
愛知 野島 秀子

辻恵美子特選

鶉篝を沈め羽音の鎮まれり  
並べ干す木偶の頭や稲の秋  
朝の鴟妻亡き家を貫けり

愛知 河村 仁誠  
愛知 寺部 糸子  
三重 廣 波青

大野鶴士特選

門らしき門を構へず萩に住む  
流木は炎の形天の川  
売れ残るバナナ一房終戦日

三重 平田 冬か  
三重 伊藤 正子  
静岡 吉住 達也

今津大天特選

肩車して蜻蛉の群の中  
目に碧を宿して死せり鬼やんま  
ほとけより生者の遠き盃蘭盆会

三重 前田 照子  
愛知 松岡美千代  
静岡 吉住 達也

宮田正和特選

三冊子編みし草庵蚊遣焚く  
差羽舞ふ波晶晶と伊良湖晴  
踏み入れば吾も旅人花野晴

三重 島井 節  
愛知 光田 道子  
愛知 上村 龍子

西田誠特選

鶴鳴くや泥著せ寝かす素鍛太刀  
書き留むるゲーテの言葉花は葉に  
動画にて配信されし盆供養

愛知 駒木 逸歩  
香川 涼野 海音  
三重 川口 漣童

石井いさお特選

雪来るかしづかに緊まる沢の水  
岬と岬引き合ふ風に鷹渡る  
松手入指で宥むる鋏あと

愛知 佐藤美恵子  
三重 松本 愛子  
兵庫 谷添 睦子

坂口緑志特選

分数を覚えたての子西瓜切る  
鷹の句碑伊賀の真清水汲み洗ふ  
ポロネーズ聞くや蜥蜴の瑠璃走り

三重 手塚 泰子  
三重 西田 尚子  
三重 中上 淑子